

第 3 回 ドローンプログラミングチャレンジ全国大会 in 白浜 開催要項

ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜 実行委員会

1. 目 的 ドローンによるコース飛行や画像認識といった課題をプログラミングによって解決し、中高生の技術力・創造力を育むとともに、科学や工学、そして宇宙への興味と関心を高める。

2. 日 時 2026 年 1 月 31 日（土）11 時 ～ 2 月 1 日（日）13 時（大会後、昼食あり申込者）

3. 主 催 ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜 実行委員会

共 催 クオリティソフト株式会社 株式会社 大塚商会 和歌山県宇宙教育研究会

後 援 和歌山県教育委員会 田辺市教育委員会 和歌山市教育委員会

朝日新聞和歌山総局株式会社 テレビ和歌山 株式会社和歌山リビング新聞社 産経新聞社

ニュース和歌山株式会社 毎日新聞和歌山支局 読売新聞和歌山支局 わかやま新報

一般社団法人南紀串本観光協会 和歌山ロケット応援団 FM TANABE

紀伊民報 熊野新聞 以上

事務局 和歌山県立向陽高等学校 教諭 有田 啓介

4. 会 場 クオリティソフト株式会社 和歌山県西牟婁郡白浜町中 1 7 0 1-3

・大会本会場 クオリティソフト内

・宿泊会場 宿泊棟（生徒・引率教員） シャトレ（運営スタッフ）

※駐車場は予約不要です。（無料） ※シャトレは本会場から離れています（車で 10 分）

5. 日 程 1 月 31 日（土）

2 月 1 日（日）

時間	内容
11:00～11:20	開会式
11:20～12:00	ドローンの調整
12:00～13:00	昼食
13:00～14:15	ドローンの調整
14:30～	ラウンド 1（大会）
17:30～19:00	夕食交流会

時間	内容
7:00～8:00	朝食
8:30～9:15	ドローンの調整
9:30～	ラウンド 2（大会）
12:30～13:00	講評・結果発表・表彰・閉会式

※1 月 30 日（金）夕方からスタッフによる準備あり

6. 参加要件 ① 1 校につき 1 チームのみとし、複数エントリーは認められない。

② チームは同じ高校（中学校）の生徒で構成するものとし、原則 1 チーム 3 名とする。

③ プログラミング言語は Python とする。

④ 事前講習会（オンライン開催 アーカイブの視聴も可）を受講すること。

7. 申込方法 和歌山県内の高校は申込書に必要事項を入力し、メールで申し込んでください。

申込書は和歌山県宇宙教育研究会の HP からダウンロードしてください。

和歌山県外の高校は申込前に参加希望の旨をメール連絡してください。

（送信先アドレス） arita-k001@wakayama-c.ed.jp [向陽高等学校 教諭 有田 啓介]

8. 申込期間 2025 年 12 月 1 日（月）～2025 年 12 月 10 日（水）

9. 審査内容 A～D までの 4 つのゾーンに設定された課題（ミッション）をドローンが飛行しながらクリアしていく加点方式（詳細は裏面を参照してください）

10. 表 彰 優勝（1 位） 準優勝（2 位） 入賞（3 位） 入選（4 位） 奨励賞（5 位）

優勝校には賞状、盾、景品が授与されます。2 位以下は賞状が授与されます。

11. 参加費用 宿泊費と食費は自己負担となります。
12. 事前講習会 ドローンプログラミングの事前講習会（オンライン）をおこないます。本大会に参加予定の学校は必ず受講してください。アーカイブも残ります。
- 第1回 12月18日（木）17時～19時 （オンライン）
- 第2回 1月8日（木）17時～18時30分 （オンライン）
- 第3回 1月17日（土）10時～15時 クオリティソフト株式会社（白浜）にて
13. 当日持物 PC（Core i3 以上推奨）、ドローン（tello を想定しています）、ドローンのバッテリー
 宿泊の用意（宿泊の場合）、メジャー、筆記用具
- ※宿泊者には31日（土）昼食から1日（日）昼食までを準備可能です。
- 30日（金）より宿泊の場合は1日（土）の朝食も準備します。（食費はすべて自己負担）
- ※アレルギーが有る場合は申込書の所定の欄に記載してください。
- ※宿泊アメニティは用意有（ドライヤーも）
- ※ドローンバッテリーは貸出分もありますが各校でも用意してください。
- ※大会中はビブスが貸与されますので着用してください。
- ※メディア承諾書は所定の用紙に記入の上、保護者の方の押印が必要です。
14. その他 新聞やテレビの取材が入ります。競技順は当日発表します。
- 宿泊は部屋数に限りがあるため、引率教員やスタッフは相部屋となります。
- 当日は進行表を掲示しますので、確認してください。
- ドローンはプロペラガードを着用してください。（tello は標準装備のもので可）
- 国内旅行保険等の必要があれば各自で加入してください。
- 31日（土）の夕食は生徒及び教員参加の交流会となります。（参加費無料）

15. 問合わせ先 和歌山県立向陽高等学校 教諭 有田啓介

Tel 073-471-6163 メール arita-k001@wakayama-c.ed.jp

（審査内容）本会場であるクオリティソフト株式会社 東館に A～D までの 4 つのゾーンが設けられ、それぞれに下記のような課題（ミッション）が設定されています。プログラミングドローンの飛行によって各ミッションをクリアしてください。

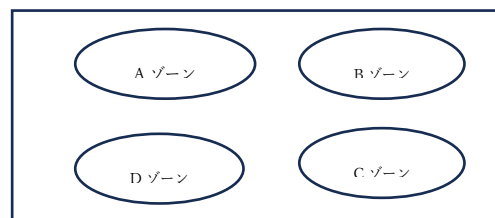
A	スタートゾーン	スタートゾーンからの脱出
B	フラフープゾーン	設置されたフラフープを通過
C	色認識ゾーン	オブジェクトを色認識し右折・左折を判断
D	ゴールゾーン	ゴールポイントへの着陸

ミッションクリアごとに点数が加点されます。

1 ラウンドに 1 回の挑戦が認められます。

審査については審査長に必ず従うようにしてください。

※審査内容の詳細は事前講習会で説明します。



（改訂履歴）

2026/01/06 日程の時間について 事前講習会について改訂

2026/01/07 （審査内容）について時間の部分を削除

2026/01/15 後援についての部分を改訂

2026/01/19 協賛についての部分を削除